

第7回例会 通算第1208回例会 令和6年9月4日(水)

12:30～13:30 郡山ビューホテル

- ▶ 開会点鐘
- ▶ 国歌斉唱
- ▶ ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱
- ▶ ロータリーの目的・四つのテスト唱和：桑原雅人さん
- ▶ ゲスト：鶴沼 誠様(合同会社LINK TOHOKU)

井上 厚 会長 挨拶

パレスナ自治区ガザ中部で、9月1日からポリオ予防接種のために、イスラエル軍とイスラム組織ハマスの戦闘が一時的休止期間とされたとの報道がありました。ガザで8月16日に25年ぶりにポリオ感染が確認されたそうで、南部や北部でも10歳未満の約64万人にワクチン接種を目指すそうです。

ロータリーはWHOなどとともポリオ撲滅活動を行っておりますが、一部の人にしか知られておりませんので、人々が知る機会になるのではないかと思います。

ロータリーは人材育成も積極的に行っており、9月1日の地区青少年奉仕セミナーに私が参加いたしました。青少年、ライラ、ローテックスなどからグローバルで積極的な活動報告があり、交換留学でアメリカに行った高校生は、海外に出ることで多種多様な人や文化に触れ、自分から発言することや自己アピールなどで積極的にコミュニケーションすることの大切さが分かったとの発表がありました。価値観や意識をアップデートさせていくためには、日本を飛び出していくことが必要ではないかと思いました。

本日は奉仕プロジェクト委員会担当の例会で、福島県内で自転車レースやマラソンといったイベントを企画運営する合同会社LINK TOHOKUのオーナーの鶴沼誠さんをゲストにお招きしております。私も仕事で危機管理担当の業務にも携わらせていただいております。自転車レースの道路使用許可の申請やレース当日の運営などをさせていただきます。本日は卓話を楽しみにしております。



▶ 9月の誕生祝い 松川義行 幹事

9月のお誕生日の方は、星相ノ介さん、安中利夫さん、齋藤健二さんの3名ですが、皆様欠席ですのでお祝いの花束はお届けさせていただきます。

プログラム：ゲスト卓話

- 合同会社LINK TOHOKU 鶴沼 誠様
『合同会社LINK TOHOKUの活動と福島の復興について』

大谷翔平選手と同じくらいの身長がありますので学生時代からスポーツをしておりまして、自転車を始めるまでは野球のピッチャーでそれなりに活躍しました。マスコミ関係に就職してしばらく仕事をしていましたが、東日本大震災をきっかけに、やりたいことをやろうと思って起業し、スポーツやイベントを通じた地域活動を始めました。



私は福島県いわき市の沿岸部で生まれ育ちました。東日本大震災で生まれ育った場所が津波で流されて何もなくなるという経験をしました。津波のほかに、皆さんも福島第一原発事故の苦い記憶が残っているかと思います。福島ナンバーの車に卵や石を投げつけられたり落書きされるなどという悲しいこともありました。それまでは社員としてあまり考えない生活をしていましたが、明日死ぬかもしれないわけで、後悔しない生き方をしようと心に決めました。いざ何かを始めようと思っても、全くの素人で何の手段もありません。それでも福島県に少しでも人を呼ぶために何かできることはないかと考えるうちに、その熱量に賛同する方々が少しずつ出てきました。「何をしようか」というところから始めて、自転車とかマラソンをやる元気な人たちだったら来てくれるかもしれないということになりました。食べ物とかまだ難しいときでもありましたけど、スポーツ中心のネットワークを作り、福島に足を運んで景色や温泉を楽しんで「いい一日だったね」と言って帰ってもらおうと、福島、宮城、岩手の東北沿岸部3県のスポーツ愛好家の仲間たちが集まって、サークル活動みたいなものからLINK TOHOKUは始まりました。

何かをするときにはまず地域住民の合意形成が大事で、地域の皆さんにイベントや活動に興味を持ってもらうところから始まります。

ロータリークラブは奉仕の心で医療活動や社会活動、教育活動がされている団体だということは何となくはわかりますが、具体的な活動は知らないのが実情です。何かを成し遂げようというときには、学生のサークルのノリのような爆発的な熱い思いを持って、意地でもやるくらいの勢いを持っていただきたいと思います。

イベントで一番苦労するのは地域調整です。まずはまずは小さい規模で実際にやって見せることです。そこから起きる波及効果は説得力もあるし、質問されたときにも説得材料となると同時に、最大の広報、周知になります。

皆さんが奉仕の心で地域のために何か活動をされるのであれば、まずは小さな活動をして、テストを繰り返しながら形につなげていくのが大事です。思った以上に人に伝わっていないということを改めて認識いただいて、それをもとに方針立て、方向立てをしていただいて、ロータリークラブの奉仕活動につなげていただければと思います。

第8回例会 通算第1209回例会 令和6年9月11日(水)

12:30~13:30 郡山ビューホテル

- ▶ 開会点鐘
- ▶ ロータリーソング「それこそロータリー」斉唱
- ▶ 四つのテスト唱和:平原 憲さん
- ▶ ゲスト:福舩 透 地区会員増強委員長(郡山南RC)

井上厚 会長 挨拶

9月は基本的教育と識字率向上月間です。加えて日本独自のロータリーの友月間です。

9月7・8日の2日間、米山梅吉記念館研修旅行に小林悦子米山記念奨学会委員長とウーさんが参加されました。

9月21日は地区職業奉仕委員会研修会、9月28日はロータリー財団・社会奉仕委員会セミナーがありますので、各委員長のご参加よろしくお祈りします。

9月29日には2回目のアイラブロード事業を行います。

福舩 透 地区会員増強委員長 挨拶



地区の会員数は2004-05年の山崎栄一ガバナー年度に2819名でしたが、2024年7月1日付で2122名、約700名も減っています。2023-24年の佐藤正道ガバナー年度には182名が入会しましたが、退会者が189名で7名減の結果でした。昨年度は11月までに純増40名でしたが12・3・6月に退会者が出て7名減となりました。退会の理由は物故会員、高齢による体調不良、転勤などで、会員増強に力を入れなければあつという間に減ってしまいます。

大変なエネルギーがかかる会員増強よりも退会防止に力を入れることが良いと思いますが、高齢者の退会が出てくるので、会長、幹事、会員増強委員長が必死になって取り組んでいただきたいと思います。先月末に船引RCさんにお邪魔したところ、来年の50周年には50名会員にするとおっしゃっていました。計算上は皆さんが1名を入れると倍になります。郡山には25,000社の企業があるそうです。その中から候補者を見つけていただいて、郡山アーバンコスモスRCさんが発展することをご祈念申し上げます。

プログラム: 会員卓話

●長尾 勉 会員

私が福島中央テレビを退職したときに、郡山南RC会員の武田安永社長さんと新澤昌英さんからお誘いを受けました。私は年金で静かに暮らそうと思っておりましたが、お二人の推薦を受けましたので、1年くらい付き合えば義理は立つだろうと思ひまして入会を承諾しました。居心地が良くて今も在籍しております。

最初の例会に私はポロシャツを着て出席しました。するとスポンサークラブである郡山南RCの特別代表をされた土屋繁一先生から「必



ずネクタイを締めて来なさい」と言われました。そのため余程のことがない限り必ずネクタイを締めて出席しております。

10周年年度の会長をさせていただき、創立10周年記念式典も皆様の協力により無事に終了させていただいて感謝しております。いろいろな楽しいプログラムもあり、もしロータリーに入っていないければ青春に戻ったような喜びを味わうことはなかったと思います。

現在84歳でいつまで体が持つか分かりませんが、出席する体力がある限り皆さんと一緒に歩んでまいりたいと考えております。

●片桐栄子 会員

私は旅館で生まれたので、小さい頃からいろんな仕事をさせられました。男3人女1人の4人兄妹の一番下で、みんなに「女の子1人だったら可愛がってもらったでしょ」と言われますが、とんでもありません。兄たちの言うことを聞かなくてはいけません。漫画本の発売日には「早く買ってこい」と言われて、本屋に駆けて行くこともしょっちゅうでした。私は兄たちと違って足が速く、運動会などでは必ず賞をもらっていました。

親からはとにかく「仕事をやれ」と言われて育ちました。今は病気になるまで歩くのもままならなくなりました。「今までやってきたご褒美だよ。何もしないでいいよ」と言われますけれども、社員から「社長が来ないと寂しいです」と言われています。



株式会社栄楽館は萩姫の湯栄楽館、ホテル華の湯、湯のやど楽山、浅香荘の4軒をやっています。他の旅館のおかみさんはお嫁さんとして大事にされています。私は兄妹の一番下ですから「どこにも行ってはいけない」と言われて、旅館の仕事を小さい頃から何でもやりました。社員の人たちがみんなが先生でした。

掛け算は調理場の飯台に器を並べて覚えしました。洗濯は温泉で汚れが結構落ちますが、さすがは川に行きました。川の流れが早くて洗濯物が流されてしまうこともありましたが、近所の人たちに助けをもらいながら、何でも教えてもらいました。

母親は何でも私にさせましたが「板前さんが包丁を持っているときは危ないし、魚を扱うのは板前の仕事だから」と、きちんとラインを引いていました。怖いから絶対そばに行きませんでしたので、魚をおろすことだけはやりませんでした。それでもある程度は包丁を使えましたから、板前が昼休みでないときにお客様が来たときなどにはお造りを出しました。盛り付けなども当たり前のようにやっていました。男の方の仕事のまき割りもやりました。私の環境でございませうから、何でもかんでもやるわけです。

社員は今では少なく250人くらいでパートさんがほとんどです。パートさんは時間を自分たちで相談しながら、ちゃんと仕事をやってくれています。元気に働いてくれる皆さんに私は「いつもありがとうね」と言っています。感謝することは大事だと思います。動物はもともと好きで、今は家に遊びに来る黒猫をかわいがっています。

